

実習船と水産高校で中学生の「体験学習」を開催します

沖縄県は四面を海に囲まれ、物資輸送の多くを海上輸送に依存しており、沖縄県民の生活及び経済活動にとって、安定的な海上輸送を確保することは重要です。この安定的な海上輸送を確保するにあたっては、海上輸送を担う人的基盤である船員の安定した確保育成が必要不可欠です。

国内輸送に従事する内航船員数はここ数年横ばいで推移しておりますが、高齢化の進展により、数年後には船員不足が生じるとされており、国内安定輸送の確保のためには若年の船員の確保・育成が喫緊の課題になっております。

このため、沖縄若年内航船員確保推進協議会（事務局：内閣府沖縄総合事務局運輸部）では、船員の仕事に対する興味や関心、将来の進路に役立ててもらうことを目的として、沖縄水産高等学校の協力により中学生を対象に、下記のとおり、「体験学習」を開催します。

記

1. 日 時：平成29年8月3日（木）10：30～15：00
2. 場 所：沖縄水産高等学校・糸満漁港
3. 参加者：中学生 1年生～3年生
4. 人 数：中学生70名（保護者、引率教師含む）
5. 学習内容：
 - 沖縄水産高等学校海洋技術科の紹介
 - 実習船「海邦丸五世」の見学
 - 沖縄水産高等学校の施設見学
 - 沖縄水産高等学校在校生・OBとの意見交換
 - アンケート調査

【問い合わせ先】

内閣府沖縄総合事務局運輸部船舶船員課 西 大村
TEL 098-866-1838（直通）

『体験学習』の実施について（概要）

日 時：平成29年8月3日（木） 10：30～15：00

参加者：中学生 1年生～3年生 70名
（保護者、引率教師含む）

場 所：沖縄水産高等学校・糸満漁港

内 容：進路段階にある中学生を対象とした船員志望の機会に資する
取りを行い、船員教育機関への進路志望者を増加させること
を目的とする。

【プログラム】

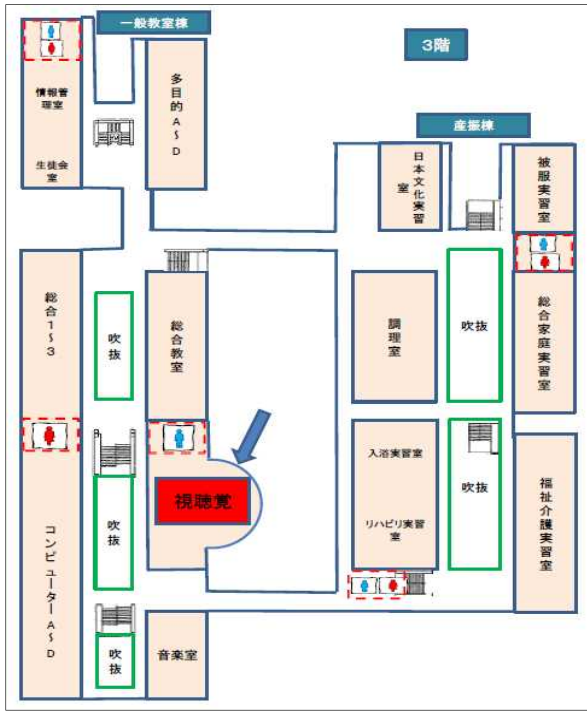
- 船員の仕事についての説明
- 沖縄水産高等学校の施設（機関実習棟）見学
- 実習船「海邦丸五世」の見学
- 沖縄水産高等学校海洋技術科の紹介
（船員の仕事、船員になるための資格の説明を含む。）
- 沖縄水産高等学校OB・在校生との意見交換
- アンケート調査
（船員に対する認識・理解度、水産高校への進学を検討するなど
学習の前後をとおして効果検証をはかります。）



体験学習の様子



沖縄水産高等学校実習船「海邦丸五世」



会場:視聴覚室
一般教室棟3階

学校全体図



会場:海邦丸五世

開会	A・Bグループ (10:30~)	
船員業務紹介、施設見学、船内見学	Aグループ	学校施設見学等(10:40頃~) 実習船見学(12:55頃~)
	Bグループ	実習船見学(10:55頃~) 学校施設見学等(12:55頃~)
学校紹介等	A・Bグループ (14:10頃~)	
閉会	15:00頃	